

瀬戸SOLAN小学校第1学年・学年通信



隊長と共に探検に出発！

1年生の探究学習は「はてなをさがそう」をテーマに進んでいます。

ラーニングコモンズで。

グラウンドで。

蟻地獄で。

思い思いの場所で写真を撮りながら「はてな」を探す練習を積んでいます。

「どうして空は青いの？」

「木には色んな線が入っているけどこれは何？」

「葉っぱも草も緑なのはどうして？」

「この前ここにあった水たまりが無くなったのはなんで？」

「この看板の漢字は何て読むの？」

「どうしてここにネットがあるの？」

「この階段は誰が作ったの？」

「どうして花には色んな色や形があるの？」

よくよく見てみると、世の中にはたくさんの魔訶不思議が存在します。

それを、ただ当たり前のものとして見ている限り探究はスタートしません。

その不思議さに「？」と気づき、「どうして」「わからない」「なんでだろう」と首を傾げるところが、探究学習の“はじめのいっぽ”です。

すでに、1年生のみんなは「はてなをさがす名人」に近づきつつあります。

「虫の目」といって、対象物にぐっと近づいて観察したり、

「鳥の目」といって、遠くから全体を俯瞰しながら撮影したり、

「？」の探し方にも少しずつ磨きがかかってきているところでした。

そこで、探究学習を担当して下さっている三宅先生とも相談し、次なる課題に一步踏み出すことにしました。

それが、二日前の探究学習でした。

天気の関係もあるため、晴れの日と探究が上手く重なった日にその次なる一歩を踏み出そうと計画しており、丁度その日が一昨日となりました。

小学校から歩いてすぐのところに、大きな神社があります。

「窯神神社」といいます。

瀬戸を代表する神社の一つが、とても身近なところに存在するのです。

学校の中で練習を重ねてきた「?探し」を、まったくの異世界である神社で行えることに、子どもたちは大いに沸きました。

ご近所とはいえ、学校の外に歩いて出るのは1年生はみんな初めてです。

楽しみにする気持ちは存分に持ちつつも、はやる気持ちを適度にいさめるために次のように説明しました。

「これから、探究の探検に出発します！（子どもたち『イエーイ！』と大歓声）。ルールを守る人しか、連れていけません。なぜなら、探検はとても楽しいけど、とても危険でもあるからです。国語や算数のお勉強をされていて命を落とすことはないけれど、探検はルールを守らないと命にかかわるくらいの事故が起きることがあります。それくらい危険です。ですから、各チームについている先生、つまりは隊長の言うことをよく聞いて行動してくださいね。」

子どもたちはニコニコしながらも、しっかり頷いて話を聞いていました。

ちなみにこの日は、クラスを8～9人のメンバーに分け、そこに一人ずつ先生がついていただく形で探究に出発しました。

各チームについて下さった先生方は総勢12名。

これだけの先生方がついて下さるのは本当に有難い限りです。（公立ではまず実現しえないことなので、自分自身も驚いています。）

先の説明にもあった通り、この日は探検ですから各隊についている先生は「隊長」です。

次のことを確認してから出発しました。

- ・隊長から決して離れないこと
- ・隊長からの指示を守ること

子どもたちは、この2つをしっかり守りました。

後ろ向きというより、極めて前向きに守っている姿が見られたことにも大きな成長がうかがえました。

探検の途中でも、たくさんの元気な声が隊長の所に届きます。

「隊長！あそこに何か書いてあります！」

「隊長！変な扉を見つけました！」

「隊長！あっちに行ってみたいです！」

窯神神社には、探究心を存分にくすぐる沢山の「？」があったようです。

それほど長い時間ではありませんでしたが、木陰で適宜お水を飲みながら休憩をしつつ、豊かな学びの時間はあっという間に過ぎていきました。



その時の映像をメディアクリエイターの増田さんが編集してくださいました。どうぞご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=OdXKMvM2_1o&feature=youtu.be

第2クォーターからは、ここまで見つけてきた「？」をどのように調べ、まとめていくかという学習へと移行していきます。

子どもたちの？がどこまで深く広がっていくのか、今からとても楽しみです。（文責：渡辺道治）

[1学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ \(google.com\)](#)